

民間活動に合わせた基盤整備調査を機動的に支援！

～平成30年度 第3回 官民連携基盤整備推進調査費の配分～

国土交通省は、6月11日（月）～7月6日（金）に案件募集をした「官民連携基盤整備推進調査費（第3回募集分）」について、地方公共団体が実施する調査案件の支援を決定しました。

東北地方整備局管内では、別添1のとおり、岩手県一戸町への支援が決定されました。

【制度概要】

各地域の個性や強みを活かし、特色ある地域の成長を図るためには、官民が連携し、民間の設備投資等と官による基盤整備を一体的に行うことが必要です。

本事業は、官民連携による広域的な地域戦略に資する社会基盤整備を推進するため、民間の設備投資等と一体的に実施する基盤整備の事業化検討を支援するための制度です。

（配分先：地方公共団体、補助率：1/2）

【実施事業】

1. 岩手県一戸町：御所野遺跡を核とした道の駅整備検討調査

【添付資料】

- ・別添1：平成30年度第3回実施事業一覧
- ・別添2：平成30年度第3回実施事業概要
- ・別添3：官民連携基盤整備推進調査費の制度概要

【その他】

- ・募集情報や過去の実施例、他地整への配分等は以下をご覧ください。
国土交通省 HP「官民連携による地域活性化のための基盤整備推進支援事業」
(<http://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/kanminrenkei.html>)

※国土交通本省においても記者発表を実施しております。

発表記者会：宮城県政記者会・東北電力記者会・東北専門記者会

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局

代表 022-225-2171

企画部 企画課長補佐 桐山 久夫（内線3156）

平成30年度 官民連携による地域活性化のための基盤整備推進支援事業 第3回実施事業一覧

別添1

調査名	実施主体	対象地域	概要	実施計画額（千円）	
				事業費	国費
1 御所野遺跡を核とした道の駅整備検討調査	一戸町	岩手県二戸郡一戸町	御所野遺跡付近において、観光、交流、特産品販売等の新たな拠点創出を図るため、民間事業者によるお土産品の販売、バス停留所の整備、広域観光商品開発、観光情報の提供等に合わせて、道の駅整備に係る地域交流施設、多目的広場、駐車場等の基本計画検討や概略設計、PPP/PFIの導入可能性検討を行う。	17,000	8,500
計		1件		17,000	8,500

御所野遺跡を核とした道の駅整備検討調査

別添2

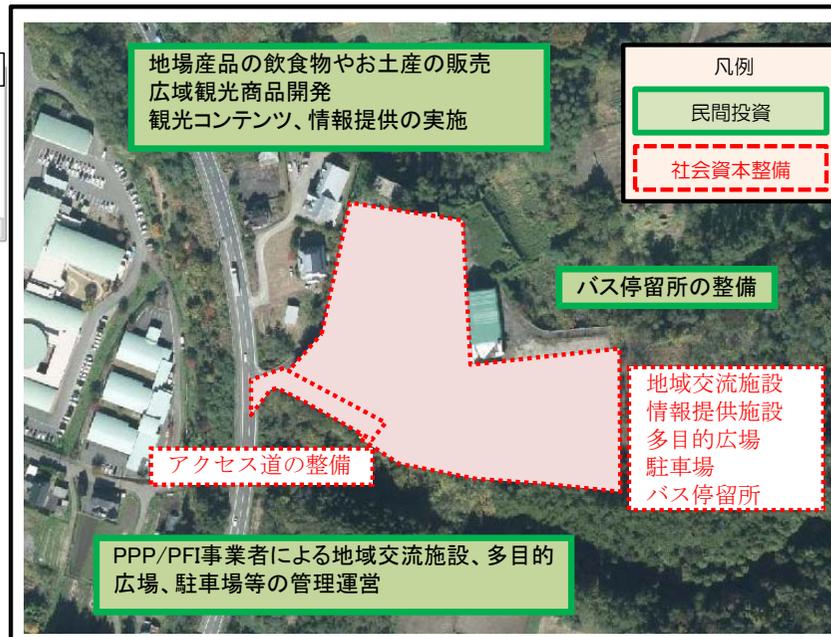
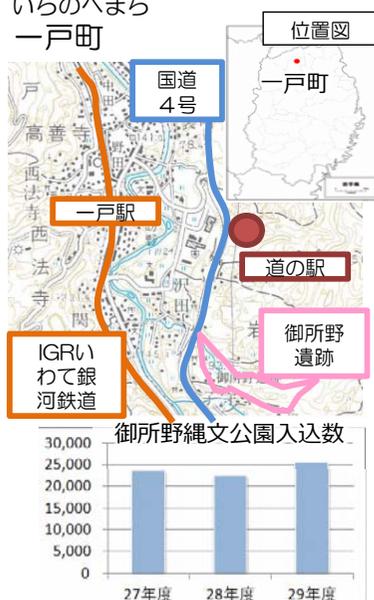
地域の特徴等

- 一戸町は、岩手県の内陸北部に位置し、町の中央部を国道4号とIGRいわて銀河鉄道が縦断し、古くから岩手県北の交通の要衝としての位置付けにあり、東北縦貫自動車道や東北新幹線といった広域的な交通アクセスにも恵まれている。
- 御所野遺跡は、自然と共生した縄文時代の文化を今に伝える貴重な文化遺跡であり、国内外の来訪者が年々増加しているが、それらの方々をもてなすための物販、飲食を提供する施設が遺跡の近隣にはなく、通過型観光となっている。
- また、平成21年にユネスコの世界文化遺産暫定リストに掲載され、北海道・北東北の縄文遺跡群の構成資産のひとつとして世界遺産登録に向け活動していた。この結果、平成30年7月に国内推薦の決定がなされ、早ければ2020年にも世界遺産登録となる見込みである。世界遺産登録後は、御所野遺跡や町内にさらに多くの観光客が期待される。

(1) 社会的背景・状況の変化等(きっかけ)

- 平成25年一戸町文化遺産活用基本計画において、御所野遺跡の世界遺産登録後の効果により来訪者の増加とその対応を検討
- 平成28年一戸町人口ビジョン・総合戦略において、観光拠点の連携強化、観光公社のような組織の設立、道の駅の設置による観光、交流、特産品販売等の新たな拠点創出を検討
- 平成28年3月に東北圏広域地方計画の「四季の魅力溢れる東北」を体験できる滞在交流型観光圏の創出プロジェクトに位置づけ、北海道・北東北の縄文遺跡群の世界遺産登録に向けた取り組みと人材育成、地場産食材の提供と体験型メニュー等を組み合わせた観光圏の形成を検討

【対象地域：岩手県二戸郡
いちのへまち
一戸町



(2) 民間事業者の活動・新たな投資・予定

- A社による地場産品を使った飲食物やお土産品の販売（H32年度～）
- B社によるバス停留所の整備（H32年度～）
- C社等と連携した広域観光商品開発（H30年度～）
- 観光協会による観光コンテンツ、情報提供の実施（H32年度～）
- PPP/PFI事業者による地域交流施設、多目的広場、駐車場等の管理運営（H31年度～）

密接な
関連性

(3) 基盤整備の必要性（現状の課題等）

- 御所野遺跡を訪れる観光客に対する広域観光の情報提供を実施するとともに、国道4号を通過している方々に対して安全で快適な道路環境の提供のために、駐車場、トイレ、情報提供・休憩施設を整備する。併せて物販や飲食を提供することにより当地域の魅力を発信していく。

(4) 【調査内容】

- ① 地域交流施設、多目的広場、駐車場、アクセス道等の基本計画検討及び概略設計
- ② 地域交流施設、多目的広場、駐車場の運営等のPPP/PFIの導入可能性検討調査

(5) 民間の活動と一体的に整備する効果

- 民間事業による観光情報発信や商品販売との連携、さらには御所野遺跡の世界遺産登録により、道の駅や御所野遺跡の来訪者の増加
- 来訪者増加に伴う消費拡大により地域経済の活性化

事業概要

平成30年度予算 325百万円

- 各地域の個性や強みを活かした特色ある成長を図るためには、民間の投資効果が最大限に引き出されるよう、民間の設備投資等と一体的に基盤整備を実施することが重要である。
- 官民が連携して実施する民間投資誘発効果の高い基盤整備や広域的な地域戦略に資する事業について、民間の意思決定のタイミングに合わせ、機を逸することなく基盤整備の構想段階から事業実施段階への円滑かつ速やかな移行を図るため、地方公共団体が行う事業化検討に対して調査費補助を行う。

事業内容

【配分先】地方公共団体(都道府県・市町村等)

【補助率】1/2

【募集・配分スケジュール】年3回配分

区分	募集期間	配分時期
第1回	1月22日～2月16日	4月19日
第2回	2月26日～4月13日	6月28日
第3回	6月11日～7月6日	9月6日

【支援内容】

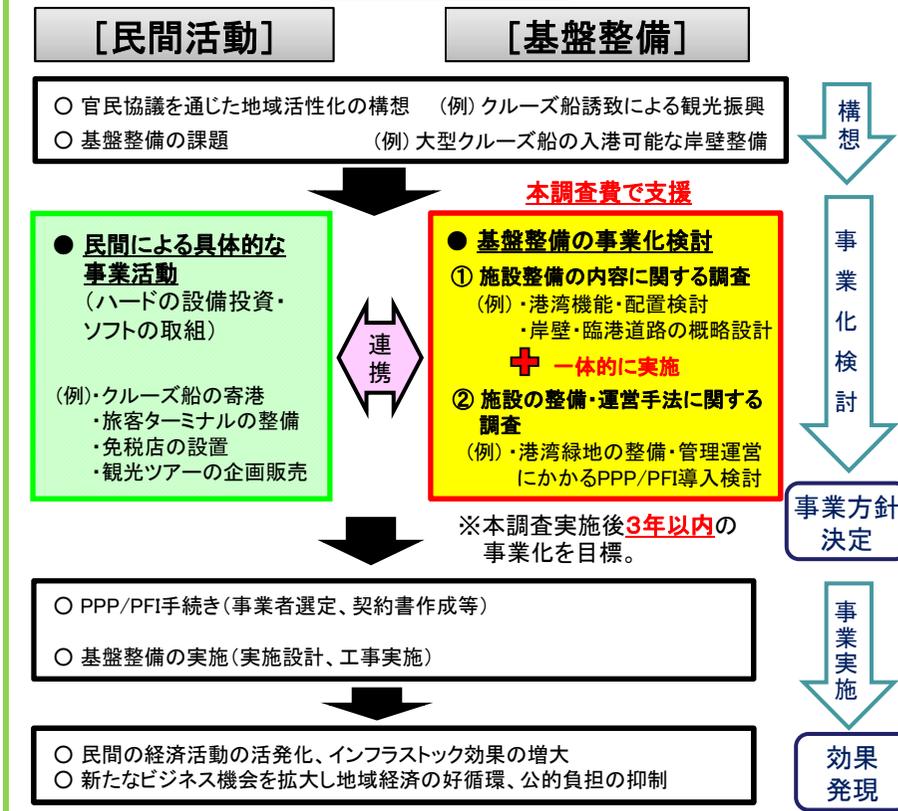
民間事業活動と一体的に行うことにより、優れた効果の発現や効率性が期待できる国土交通省所管の基盤整備※の事業化に向けた検討経費を支援

<調査内容>

- ① 施設整備の内容に関する調査
(例) 基礎データ収集、需要予測、概略設計、整備効果検討等
- ② ①で調査した施設の整備・運営手法に関する調査
(例) PPP/PFI手法の選定、官民の業務分担、VFM算定等

※ 道路、海岸、河川、港湾、都市公園、市街地整備、空港等の公共土木施設

事業フロー



官民連携基盤整備推進調査費のご案内

－ 官民連携による地域活性化のための基盤整備推進支援事業－

■ 調査費の概要

1. 民間活動に合わせた自治体の基盤整備検討の機動的な支援です！

- 民間事業活動と一体的に実施する基盤整備の事業化検討について、地方公共団体に対して、調査費補助を行っています。（補助率1/2）

2. 基盤整備の事業化検討が実施可能です！

- 国土交通省所管（道路、港湾、河川、公園、駅前広場等）の社会資本整備事業の事業化を検討するための調査を実施できます。

（例）基礎データ収集、需要予測、概略設計、整備効果検討等

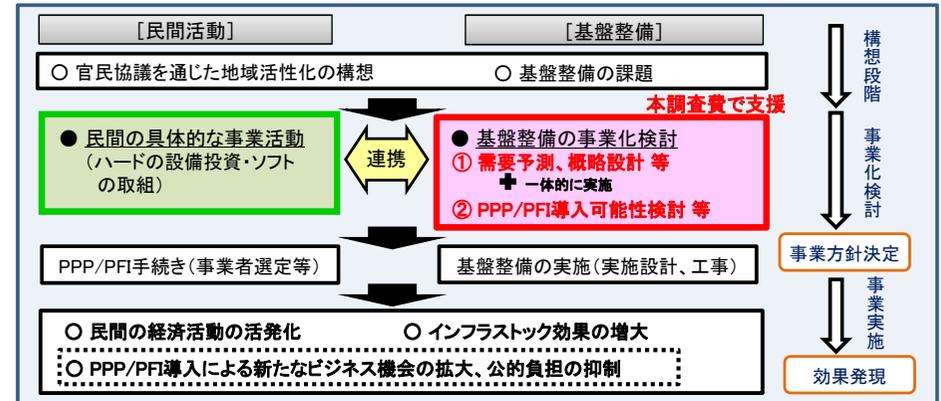
3. 事業化検討と合わせてPPP/PFI導入検討も実施可能です！

- 基盤整備の事業化検討と合わせて、PPP/PFI導入可能性検討や具体的事業手法の選定などの調査も実施できます。

（例）PPP/PFI手法の選定、官民の業務分担、VFMの算定等

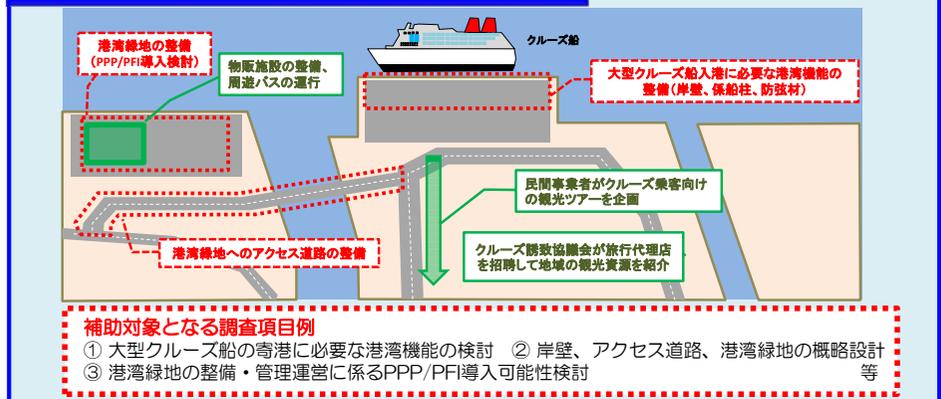
国土交通省 国土政策局 広域地方政策課 調整室

調査費の活用の流れ



調査費の活用事例（イメージ）

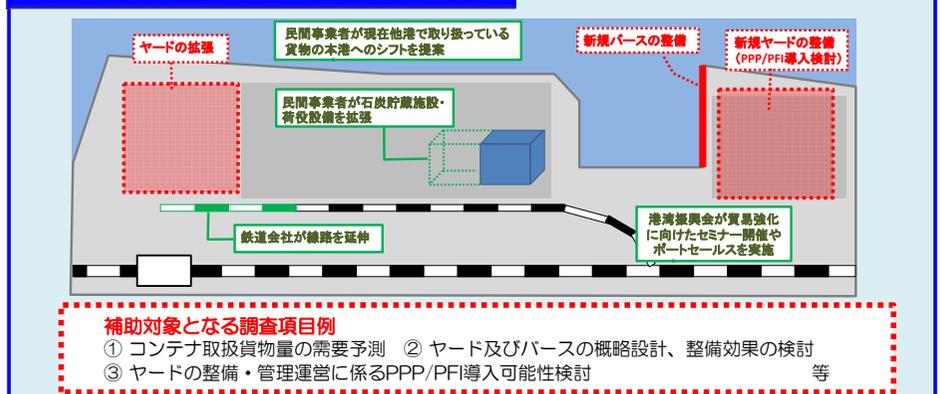
事例①：大型クルーズ船受入のための港湾施設整備の検討



補助対象となる調査項目例

- ① 大型クルーズ船の寄港に必要な港湾機能の検討
- ② 岸壁、アクセス道路、港湾緑地の概略設計
- ③ 港湾緑地の整備・管理運営に係るPPP/PFI導入可能性検討 等

事例②：物流機能強化のための港湾施設整備の検討



補助対象となる調査項目例

- ① コンテナ取扱貨物量の需要予測
- ② ヤード及びバースの概略設計、整備効果の検討
- ③ ヤードの整備・管理運営に係るPPP/PFI導入可能性検討 等

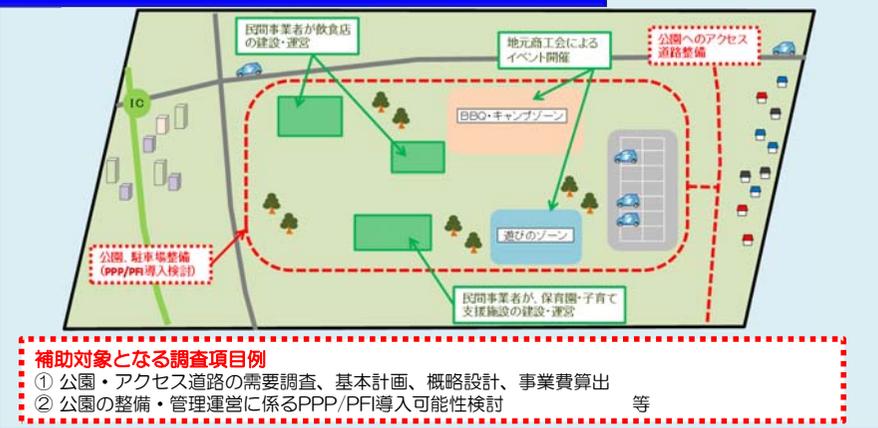
事例③：広域交流拠点としての駅周辺整備の検討



事例④：地域振興拠点としての道の駅整備の検討



事例⑤：観光振興のための公園整備の検討（Park-PFIの活用）

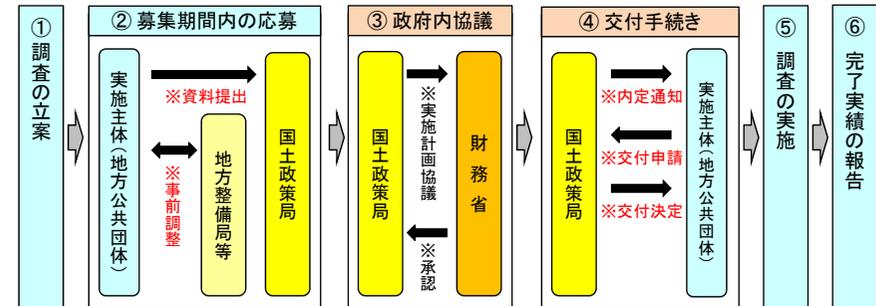


■ 募集・配分スケジュール

年3回の募集を予定しています。

区分	募集期間	配分時期
第1回	1月22日～2月16日	4月19日
第2回	2月26日～4月13日	6月28日
第3回	6月11日～7月6日	9月6日

■ 募集から調査実施までの流れ



■ お問い合わせ窓口

（本省担当）

国土交通省 国土政策局 広域地方政策課 調整室（官民連携基盤整備推進調査費 担当）
 〒100-8918 東京都千代田区霞が関2丁目1番2号 中央合同庁舎2号館12階
 TEL:03-5253-8360(直通) FAX:03-5253-1572

（各地方支分部局）

	部署名	外線(内線)
北海道開発局	開発監理部 開発計画課 開発企画官、地域連携専門官	011-709-2311(内 5462, 5467)
東北地方整備局	企画部 環境調整官、企画課	022-225-2171(内 3114, 3156, 3236)
関東地方整備局	企画部 事業調整官、企画課	048-601-3151(内 3116, 3153, 3181)
北陸地方整備局	企画部 事業調整官、広域計画課	025-280-8880(内 3116, 3211)
中部地方整備局	企画部 事業調整官、広域計画課	052-953-8129(内 3116, 3211, 3212, 3221)
近畿地方整備局	企画部 事業調整官、企画課	06-6942-1141(内 3116, 3156)
中国地方整備局	企画部 事業調整官、広域計画課	082-221-9231(内 3116, 3221)
四国地方整備局	企画部 事業調整官、広域計画課	087-851-8061(内 3116, 3211, 3212, 3231)
九州地方整備局	企画部 企画課	092-471-6331(内 3181, 3182)
沖縄総合事務局	開発建設部 建設行政課	098-866-0031(内 3166)

国土交通省ホームページに詳しい情報を掲載しています。調査計画書の様式等をダウンロードできます。

（ホーム <http://www.mlit.go.jp/> >> 政策・仕事 >> 国土政策 >> 官民連携による地域活性化のための基盤整備推進支援事業）
<http://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/kanminrenkei.html>